様式第１６（第４０条関係）（第一面から第三面まで）

|  |
| --- |
| 認定申請書  申請年月日　 　　　2023年　　11月　　6日    　　経済産業大臣　殿  （ふりがな）まるかしょくひんかぶしきがいしゃ  一般事業主の氏名又は名称　まるか食品株式会社  （ふりがな）かわはら　かずのぶ  （法人の場合）代表者の氏名　川原 一展 印  住所　〒722-0212  広島県尾道市美ノ郷町本郷455-10  法人番号　1240001038551  　情報処理の促進に関する法律第３１条の認定を受けたいので、下記のとおり申請します。 |
| 記  情報処理システムの運用及び管理に関する指針に関する取組の実施状況  　(1) 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | まるか食品株式会社　DX戦略2023 | | 公表日 | 2023年　　9月　　22日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | まるか食品株式会社HPで公表　記載箇所ページ  1.DXに関するトップメッセージ  2.経営理念・経営ビジョン  公表HP：https://e-maruka.co.jp/blog/approach-dx/dx-strategy/ | | 記載内容抜粋 | （経営ビジョン）  私たちは、デジタル技術の進歩が著しい現代において、最新デジタル技術やデータの活用を通して社内効率化を図り、顧客拡大と顧客満足度向上に努めてまいります。  また、個人のライフスタイルが多岐に及ぶ時代に合わせて、瀬戸内の資源を生かした「おつまみスナック」を中心に、お客様一人一人に食のライフスタイルの提案ができる「おつまみスナックのワードローブ」と呼ばれるような企業になります。  社内外共にデジタル化による変革を進め、3年後には「おつまみスナック」業界で広島県でNO.1、5年後には全国でNO.1となるような、瀬戸内の素材、風土、空気を活用し瀬戸内を代表する商品・会社づくりに尽力いたします。  ※衣装箱を示すワードローブが人の幸せをもたらすように、「おつまみスナックのワードローブ」は、その人の食の好みがつまった何通りもの組み合わせが可能な幸せの箱を示します。お客様の好みをデータで把握し、一人ひとりのその日の気分や場面に合わせた食の組合せの提供を行います。  （社長が目指すビジネスモデル）  現在の私たちのお客様はBtoBが中心ですが、コロナ禍の中で「宅飲み」というライフスタイルが定着したこともあり、 BtoC向けも視野にいれてお客様のニーズをデータで把握したうえで、お客さまの生活に、幸せな”ワォ!!”を提供し喜んでいただける商品開発が必須だと考えています。デジタル技術やデータを活用することで、社内外を問わず、より効率的で効果的なビジネスを実現し、顧客の満足度を高く維持できる企業を目指していきます。 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | 2023年　9月　22日に開催された取締役会で、「DX戦略2023」は承認された。 |   (2) 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | まるか食品株式会社　DX戦略2023 | | 公表日 | 2023年　　9月　　22日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | まるか食品株式会社HPで公表  記載箇所ページ「3.DX戦略（DXステップ）（社内DX戦略）」  公表HP：https://e-maruka.co.jp/blog/approach-dx/dx-strategy/ | | 記載内容抜粋 | ＜DXステップ＞  経営ビジョン達成のために、DX推進委員会を中心に、顧客への幅広いライフスタイルの提案の実現のためにデジタル技術の活用に努め、下記のようなステップでデジタル化やデータ活用、社内変革を推進しデジタル技術の導入に売上の0.5％を投資していきます。  ◆2023年の私たち：BtoB改善、BtoB注文カスタマイズ化  ⇒大型顧客からの受注・生産の方法を見直し、多品種小ロット注文に対応できるようにプロセスを見直し、食品ロス削減を実現  ◆2026年の私たち：BtoCの強化、「おつまみスナック」業界で広島でNO.1  ⇒マーケティング強化によるファンの増加策と顧客の声を反映した商品開発強化  ◆2028年の私たち：「おつまみスナックのワードローブ」となる、業界日本一へ  ⇒個人のライフスタイルに合った多くの提案ができる会社へ成長する。  ＜社内DX戦略＞  経営ビジョン達成のために、以下のDX戦略に取り組みます。  戦略①BtoBの改善  ・デジタル技術でカスタマイズ  ⇒受注生産に立ち返り、ロス減少  ⇒販売分析データを提示しお客様にご案内し数量を決定（ルッカースタジオ等）  ⇒効率のいい究極の受注生産で生産計画を立てやすく  戦略②BtoCの強化  ・瀬戸内の風土をはじめとして各地方のご当地の商品を多く開発  ⇒マーケティングの強化により、お客様との連携による新商品開発とファン化を推進  戦略③新商品開発  ・「おつまみスナックのワードローブ」になる  ・お客様アンケートや口コミをデータ解析し新商品開発を行い、更なる改善を実施。  ⇒個人のライフスタイルに合わせた商品提供で他社と差別化 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | 2023年9月22日に開催された取締役会で、「DX戦略2023」は承認された。 |   　　① 戦略を効果的に進めるための体制の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | まるか食品株式会社HPで公表  記載箇所ページ「4.体制・人材育成」  公表HP：https://e-maruka.co.jp/blog/approach-dx/dx-strategy/ | | 記載内容抜粋 | 社長を委員長としたDX推進委員会を設置し、DX実務執行総括責任者（川原社長）が中心となり月に一度の話し合いを通してDXを推進します。また、各部署に横展開し、デジタル技術を使い顧客満足度を向上し、DX人材育成を実施します。 |   　　② 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | まるか食品株式会社HPで公表  記載箇所ページ「3.DX戦略（DXステップ）」及び「5.デジタル技術、環境整備」  公表HP：https://e-maruka.co.jp/blog/approach-dx/dx-strategy/ | | 記載内容抜粋 | ＜DX戦略（DXステップ）＞  経営ビジョン達成のために、DX推進委員会を中心に、顧客への幅広いライフスタイルの提案の実現のためにデジタル技術の活用に努め、下記のようなステップでデジタル化やデータ活用、社内変革を推進しデジタル技術の導入に売上の0.5％を投資していきます。  ＜デジタル技術、環境整備＞  当社は、DX推進のために下記表のデジタル技術の導入や環境整備に取り組みます。既存システムについては定期的に取り組み内容を見直し、新規システムの導入を図ります。  既存システム：Chatwork・GoogleWorkSpace・会計ソフト・勤怠システム・受注システム・生産管理システム・指示書システム等の利用状況を確認しながら見直しを行い、必要に応じて適宜機能改修を行います。  新規システム：稼働状況管理システムの稼働状況をモニタリング及び運用に取り組んでいきます。 |   (3) 戦略の達成状況に係る指標の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | まるか食品株式会社　DX戦略2023 | | 公表日 | 2023年　　9月　　22日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | まるか食品株式会社HPで公表  記載箇所ページ「6.数値目標（KPI）」  公表HP：https://e-maruka.co.jp/blog/approach-dx/dx-strategy/ | | 記載内容抜粋 | DX戦略の達成状況を測る指標として下記を定めます。実行計画を立案したうえで、取り組みを行い、各部署ごとに目標値の達成状況を月1度評価を行いながら目標達成できるようPDCAサイクルを回していきます。取り組み内容および目標値（KPI）は以下の通りです。  1. ルッカースタジオを活用し、販売分析データから数量を決定し、効率のいい究極の受注生産に立ち返り、食品ロス削減　2024年までに計測値より食品ロス　50％削減  2. SNSによるダイレクトマーケティング　2025年までに会員数　1万人  3. ニーズの把握からファンの増加を図り、顧客との連携による新商品の開発　2025年までに顧客との連携による新商品　年1個達成 |   (4) 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信   |  |  | | --- | --- | | 発信日 | 2023年　　9月　　20日 | | 発信方法 | まるか食品株式会社の「まるか食品のDXへの取り組み」に進捗等に関する方針を実務執行総括責任者である社長自らが行っている。  公表HP：https://e-maruka.co.jp/blog/approach-dx/dx-initiatives/ | | 発信内容 | 時代の変化に対応し、より効率的かつ顧客満足度の高い商品開発を目指すため、まるか食品株式会社はDXを推進します。  DXとは、デジタル技術を駆使してビジネスモデルや業務プロセスを革新することです。  私たちは、DXを活用することで、お客様のニーズをデータで把握し、お客様の生活に、幸せな”ワォ!!”を提供し喜んでいただける商品開発が必須だと考えています。  まるか食品株式会社は、DXを進めることにより、今後も、皆さまに「安心」して食していただける「おいしい」商品を通じて、笑顔あふれる大きな大きな信頼の「和」をつくり、心豊かな食生活に貢献していきます。これからも皆さまのご愛顧とご指導宜しくお願いします。 |   　(5) 実務執行総括責任者が主導的な役割を果たすことによる、事業者が利用する情報処理システムにおける課題の把握   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2023年　　５月頃　～　　　2023年　　９月頃 | | 実施内容 | 経営者のリーダーシップの下で、デジタル技術の動向や自社のITシステムの現状を踏まえた課題の把握を、「DX推進指標自己診断フォーマット」を利用して行い、IPAの自己診断結果入力サイトより提出している。  提出日：2023年9月1日 |   　(6) サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2023年　　５月頃　～　　　現在 | | 実施内容 | 情報セキュリティ方針を公表し、セキュリティアクション制度に基づき二つ星宣言を行っている  公表HP：https://e-maruka.co.jp/blog/approach-dx/information-security-basic-policy/  セキュリティアクション二つ星宣言ID: 40095415426 |   （注）(1)～(3)の取組において公表先のURLを提出しない場合は次の①の書類を、(4)の取組において情報発信内容を確認できるウェブサイトのURLを提出しない場合は、次の②の書類を添付すること。また、必要に応じて③、④の書類を添付できる。  ①　(1)～(3)の取組における、公表を行っていることを明らかにする書類（公表先のウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ②　(4)の取組における、情報発信を行っていることを明らかにする書類（情報発信内容を確認できるウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ③　(1)の取組における企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性、(2) の取組における戦略を補足説明するための書類（最新の情報処理技術の変化による影響を踏まえた観点から決定していることを説明する書類等）  ④　(5)～(6)の取組における、実施内容を補足説明するための書類 |

備考．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

様式第１６（第４０条関係）（第四面）

（記載要領）

１．「申請年月日」欄は、経済産業大臣に認定申請書を提出する年月日を記載すること。

２．「一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所」欄は、氏名については、記名押印又は自筆による署名のいずれかにより記載すること。一般事業主が法人の場合にあっては、住所については主たる事務所の所在地を記載すること。

３．一般事業主が法人の場合であって法人番号が記入されている場合は、一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所の記載を省略することができる。

４．申請内容は正しく記載すること。認定後、虚偽または不正の申請を行ったことが判明した場合には、認定の取消し等所要の措置を講ずることがある。